

公益財団法人鳥取市文化財団

令和5年度事業計画

公益目的事業

1. 鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発活動を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 指定管理施設の管理事業

指定管理者として、鳥取市設置の下記指定管理施設を鳥取市と締結する指定管理基本協定書及び年度協定書に基づき維持管理する。

- ① 鳥取市歴史博物館
- ② 鳥取市因幡万葉歴史館
- ③ 仁風閣・宝扇庵
- ④ 鳥取市あおや郷土館
- ⑤ 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- ⑥ 鳥取市あおや和紙工房
- ⑦ 城下町とっとり交流館

(2) 展示開催事業

鳥取市の文化等にふれあう機会を提供し、これに対する関心や興味を喚起するため、文化・観光・産業に関する資料を活用し、常設展示、特別展示、企画展示等の展覧会を企画・立案・開催する。

(3) 教育普及啓発事業

鳥取市の文化等をより身近に感じてもらうため、外部有識者や当法人の学芸員による講演会・講座、文化・歴史・産業に関する体験学習等を企画・立案・開催する。

(4) 調査、研究、収集及び保存事業

鳥取市に関係した文化・観光・産業を広く発信するため、各種事業を展開するに当たり、その基礎となる資料の調査、研究、収集を行い、その成果を展示や体験学習に活用するとともにこれを整理保存し、蓄積していく。

(5) 施設貸与事業

上記指定管理施設の効率的な活用を図るとともに、市民等に能動的に施設を活用してもらうことで施設の魅力をさらに高めることを目的に施設の貸与を行う。

(6) 関連物品販売事業

鳥取の文化・観光・産業に関係した物品や各施設で実施する展覧会、教育普及啓発事業に関連した物品の販売を行う。

2. 埋蔵文化財の発掘調査及び整理保管を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理保管事業

鳥取市に点在する遺跡の発掘調査を実施し、発掘により出土した遺構や遺物の調査、研究、整理、保管を行い、その成果を報告書にまとめるとともに市民に還元する。

各施設の具体的な事業計画は以下のとおり。

【公益目的事業 1】

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市歴史博物館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示の追加・更新	通年	常設展示室の展示更新（展示資料の入替、パネル更新）を行う。 常設展示解説シートの追加・更新を行う。 まなびのひろばの活用（学芸員の常駐、来館者対応）を行う。
	企画展 「七宝の世界 ～橋詰峯子作品展 ～」(仮称)	令和5年 4月22日～ 5月28日 (予定)	鳥取市で立体七宝作家として活動する橋詰峯子氏の作品展を開催する。同氏は、平成28年度に鳥取県無形文化財保持者に認定され、令和3年度には鳥取県文化功労賞を受賞された。
	共催展 「第62回 麒麟の まち 鳥取市美術 展 受賞作品展× 放哉を書く」	令和5年 6月10日～ 7月9日 (予定)	昭和37年に第1回目が開催され、今回で第62回となる。本展では、近年の受賞作品を中心に展示し、併せて尾崎放哉の句の書道作品を紹介する。 主催：鳥取市・麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会
	企画展 「鳥取城の歩み ～天神山城から鳥 取城へ～」(仮称)	令和5年 7月22日～ 9月12日 (予定)	中世における守護所の変遷と戦乱の時代について、江戸時代の鳥取城の前史として、布勢天神山城が築かれた室町期（戦国期）から関ヶ原合戦で池田家が入部するまでの時代について紹介する。
	企画展 「鳥取城の歩み」 (仮称)	令和5年 9月30日～ 11月12日 (予定)	江戸時代の鳥取城・明治期以降の鳥取城跡について、鳥取城とその周辺の歴史を絵図面や古写真など関係資料で紹介する。
	共催展 「とっとりのお宝 おひろめ～鳥取県 指定文化財展～」 (仮称)	令和5年 12月2日～ 令和6年 1月14日 (予定)	令和4年度に新規指定となった文化財などを広く紹介する。当該年度で7回目の開催となる。 主催：鳥取県地域づくり推進部文化財課

区分	事業名	期間	事業内容
	共催展 「第25回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」	令和5年 11月初旬～ 11月末日 (予定)	鳥取県内の小・中・高校生が、夏休み期間に取り組んだ地図作品の数々を一堂で紹介する。 主催：鳥取県社会教育研究会
	特別展 「館蔵品展Ⅳ～先人の遺してくれたもの～」	令和6年 2月3日～ 3月24日 (予定)	近年、収集した資料を展示・公開をする。5年ごとに開催してきた館蔵品展の4回目となる。展覧会に合わせて『館蔵品選集Ⅳ』を制作する。
	令和6年度以降の展示準備	通年	令和6年度に開催予定の展覧会「松尾大社の至宝」(仮称)と「鳥取池田家の養子たち」(仮称)の年度調査を行う。
教育普及 啓発事業	おうちだにアカデミー	通年 (毎月1回)	当館学芸員をはじめ関係機関の専門員等の調査・研究成果等をテーマにした講座を開催し、郷土の歴史・文化への理解・関心をより深める。
	常設展示ギャラリートーク	おうちだにアカデミー開催日に実施 (4月を除く)	常設展示の内容を広く市民に知ってもらい、郷土の歴史や文化について理解を深める。
	おうちだにワークショップ 「地図作り教室」	令和5年 7月29日～ 7月30日 (予定)	鳥取県地域社会研究会との協働による、鳥取東照宮や樗谿公園など館周辺の歴史・文化を題材とした地図づくり教室。学校教育につながる社会貢献度の高い事業である。
	おうちだにワークショップ 「和本づくり」	令和5年 4月30日、 8月19～20日 令和6年 3月10日 (予定)	紙と糸を使って、昔ながらの和本づくりを行う。日本の文化に親しみを持ってもらおう。
	おうちだにワークショップ 「ハンコづくり」	令和5年 11月4日 (予定)	人形アニメーション作家を講師に迎え、石材またはゴムを使って、オリジナルのハンコを作る。
	やまびこ史跡探訪 (仮称)	令和5年 7月17日 9月10日 10月9日 11月5日 (予定)	鳥取市内に残る史跡に出向き、学芸員が解説をする。日頃の調査研究の成果を市民に還元することで、郷土の歴史について理解を深めてもらう。
	城下町を歩く	令和5年 10月14日 (予定)	鳥取市中心市街地に残る城下町の痕跡をめぐり、鳥取城下町の歴史や変遷などについて理解を深めてもらう。今回は開催予定の企画展「鳥取城の歩み」と連動した内容で実施する。
	樗谿を歩く	令和5年 11月11日 (予定)	樗谿公園にある史跡や文化施設などをめぐり、樗谿の歴史や変遷について理解を深めてもらう
	資料にふれる	令和5年 7月22日 令和6年 3月9日 (予定)	実物資料を間近で見学することで、博物館資料及び歴史や文化への理解・関心を深めてもらう。7月22日は昔の暮らしをテーマとし、3月9日は開催中の館蔵品展と連動して実施する。

区分	事業名	期間	事業内容
	新春イベント 「やまびこ館にGO！！鉄道の世界にいらっしやい2024」	令和6年 1月6日～ 1月14日 (予定)	恒例となった新春イベントとして、鉄道関係の資料等の展示を行うとともに、週末は鉄道模型ジオラマ運転会やミニトレイン走行のイベントを実施する。 協力：鉄道サークル 鉄
	イベント等出展事業	令和5年 8月初旬 (予定)	博物館活動への理解・関心を深めてもらうため、親子連れが訪れるイベント等に出展する。
	4館合同スタンプラリー	令和5年 7月中旬～ 10月末 (予定)	鳥取市歴史博物館・因幡万葉歴史館・高砂屋・仁風閣の4館でスタンプラリーを実施する。夏から秋の展示やイベントの集客増を目指す。
	ミュージアムコンサート	令和5年 5月13日 7月1日 9月9日 令和6年 3月23日 (予定)	博物館と音楽をコラボさせ、鳥取市歴史博物館を多くの方に親しんでいただくとともに、音楽愛好家の皆さんに発表の場を提供する。鳥取ブラस्पレイヤーズやわらべ館などによるコンサートを開催する。
	鳥取市歴史博物館・鳥取県立公文書館共同事業 「占領期の鳥取を学ぶ会」	令和5年 5月～ 令和6年 3月 (毎月1回)	昭和20年(1945)～同27年にかけて行われたGHQ(連合軍最高司令官総司令部)による日本占領の時期に発行された英文の軍政レポートを参加者とともに翻訳していく。
	入館無料記念日 プレゼント企画 (仮称)	令和5年 5・7・9・11 月	入館無料となる記念日にあわせてプレゼントを配布することで館への入館を促し、市民の満足度及び認知度を高める。
	夏休み企画 やまびこ歴史教室 (仮称)	令和5年 8月6日	講座やギャラリートーク、体験などを組み合わせて、博物館及び郷土の歴史や文化への理解・関心を深めてもらう。先史、古代・中世、近世、近代の4コマを実施する。
	やまびこ館クイズラリー	令和5年 ゴールデンウィーク 及び夏休み期間中	常設展示や開催中の企画展等に関するクイズラリーを実施する。展示内容について楽しみながら理解を深めてもらうことを目標とする。成績優秀者には景品を進呈する。
	学校連携事業	通年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各学校へ働きかけ来館をうながす。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	博物館年報	通年	令和4年度の博物館活動を冊子にまとめ、報告する。
	出前ミュージアム講座	通年	戦国時代の鳥取城攻めや鳥取の災害などの講座を準備、市内の公民館や小・中学校などに赴き講演を行う。
	パネル・ミュージアム事業	通年	戦国時代の鳥取城攻めや鳥取の災害などの巡回可能な展示パネルを制作、公民館等へ貸し出す。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
調査・研究 収集・保存 事業	資料整理	通 年	館蔵資料の整備・目録化を進める。
	流通図書・古書購入	通 年	市民からの問い合わせへの対応や、博物館活動の企画・立案、情報収集に必要な図書および古書を購入・整備する。
	データベース構築	通 年	館蔵資料の活用強化を図るため、現在は台帳で管理している館蔵資料についてデータベースの構築を行う。
	館蔵資料の修復・保存	通 年	館蔵資料の保存・活用のため、劣化・損傷している資料の修復・修繕並びに資料の有効活用に資する対応を行う。ただし、寄託資料は対象外とする。
	IPM メンテナンス	通 年	主に清掃・温湿度調整などの環境管理と薬剤などを用いた防除を組み合わせて文化財に加害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止する。
	継続調査	通 年	博物館活動全般についての調査・研究。常設展示運用のため、因幡地方の歴史・文化の調査を継続的に実施する。
	準備調査	通 年	次年度以降の展覧会開催を視野にいたした将来的な事業の企画・立案等のため、準備調査を行う。
	館蔵資料の写真撮影・デジタル化	通 年	資料の二次利用（図版等）、劣化防止、情報公開に努めるため、館蔵資料を記録（写真撮影）及びデジタル化して利用の便を図る。
	研修参加	通 年	各種研修に参加し、学芸員の資質向上や知識習得を図る。
	資料購入	通 年	「寄贈」や「寄託」では入手しにくい資料を資料収集の一環として購入し、博物館活動の基本である資料の整備・充実を図る。一定額以上の資料購入にあたっては、資料評価委員会の開催を要請し、協議検討を行う。
施設貸与 事業	研修室の貸出	通 年	会議・研修・勉強会等のために研修室の利用を希望する団体等に対し貸出をする。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当館の展覧会図録、オリジナルグッズ、歴史関連書籍、鳥取市ゆかりの民芸品等を来館者に販売する。図録やオリジナルグッズの一部は、インターネットショッピングモール「とっとり市」でも販売する。展覧会開催期間は、関連書籍や関連商品を期間限定で販売する。 ・イベントに応じて図録や書籍、オリジナルグッズ等を館外で販売する。 ・オリジナルキャラクターを使用した商品や御城印に関連する商品、「鳥取城攻め」に関連する商品の販売を促進する。

鳥取市因幡万葉歴史館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市因幡万葉歴史館の管理・運営を行う。
	受託事業	通 年	国府史跡ネットワーク案内広場の維持・管理を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	万葉歌人大伴家持の紹介をはじめ、万葉・王朝時代の歴史文化、因幡国庁を中心とした古代因幡の歴史や麒麟獅子頭等の民俗芸能を紹介する。
	麒麟獅子舞常設展示	令和5年 6月中旬～ 12月上旬 (予定)	日本遺産で国指定無形民俗文化財の麒麟獅子舞について展示紹介する。
	企画展 「福田典高展」 (仮称)	令和5年 4月下旬～ 6月上旬 (予定)	鳥取市国府町出身の画家で、現在国府町中河原でアトリエ小学校を運営している福田典高氏の原画を紹介する。
	企画展 「まつしたゆうり展」 (仮称)	令和5年 9月中旬～ 12月上旬 (予定)	『よみたい万葉集』の文(共著)、イラストを担当したまつしたゆうり氏の万葉集関連の作品をパネルで展示する。
	展覧会 「カルチャー教室 生徒作品展」	令和6年 3月上旬～ 3月下旬 (予定)	令和5年度因幡万葉歴史館カルチャー教室の受講生の作品を展示する。
	巡回展 「第16回池田家墓 所写真コンクール 作品展」	令和5年 12月中旬～ 令和6年 1月中旬 (予定)	池田家墓所の写真コンクールの作品展覧会。万葉歴史館への入館者には池田家墓所見学者も多く、国府町に所在する史跡の活用、周知活動の一環として開催する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	共催展 「鳥取書道代表十 人展」	令和6年 2月中旬～ 2月下旬 (予定)	鳥取を代表する書道家十人による作品展を開催する。 共催：鳥取書道代表十人展実行委員会
	ロビー展示	通 年	エントランスホールを利用して、万葉集や国府町等をコンセプトとした展示を行う。また、市民ギャラリーとしても利用する。
	次年度以降の展示 準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、鳥取市歴史博物館や他施設、関係機関との連携、協力をして調査研究、調整を行う。
教育普及 啓発事業	万葉集講座 (仮称)	令和5年度 年4回 (予定)	現存する日本最古の歌集「万葉集」を初心者にも分かりやすく解説する。

区分	事業名	期間	事業内容
	体験講座 「まが玉づくり」	令和5年 4月29日～ 5月7日 7月15日～ 8月15日 (予定)	古代より厄除けやお守りとして身につけられていた勾玉を作り、完成後は身につけて記念写真撮影を行う。 万葉集の時代を感じ興味を深める。
	体験講座 「まんれき！ クイズラリー」	令和5年 4月29日～ 5月7日 7月15日～ 8月15日 (予定)	館内及び万葉と神話の庭をじっくり見学しながら万葉歴史館が用意したクイズを解いてもらい、万葉歴史館や万葉時代の素晴らしさを再認識する。
	体験講座 「草木染め工房」	令和5年 7月下旬・ 10月 (予定)	万葉時代にも行われていた草木染めの体験学習講座を行う。身近な植物を染料にして、布に絞りをに入れて染める。
	4館合同スタンプ ラリー	令和5年 7月中旬～ 10月末 (予定)	鳥取市歴史博物館・因幡万葉歴史館・高砂屋・仁風閣の4館でスタンプラリーを実施する。秋の展示やイベントの集客増を目指す。
	バスツアー	令和5年 年1回	国府町や因幡の歴史文化に関する場所を回る。
	体験講座 「寄せ植えづくり」(仮称)	令和5年 12月初旬 (予定)	古来より縁起物といわれる花木を用いて、新年を迎えるのにふさわしい寄せ植えづくりを行う。
	万葉かな書道教室	令和6年 2月上旬 (予定)	万葉歌をかな書道で書く講座。万葉集を楽しみながら学ぶ。
	旧正月万葉茶会	令和6年 2月10日 (予定)	万葉集最後の歌が詠まれた旧正月に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞い、旧正月を祝う。
	第23回因幡の傘踊りの祭典	令和5年 8月中旬 (予定)	県東部の傘踊りや手笠踊りの団体などが、「因幡の傘踊り」の発祥の地に一堂に集い豪華に競演する。傘踊り体験コーナーや出店を行う。
	第24回万葉集朗唱の会	令和5年 10月15日 (予定)	大伴家持が詠んだ歌470余首を参加者全員が万葉衣装に身を包み、思い思いにリレー方式で歌い継ぐ。万葉食の出店や茶席、地産地消コーナーを設置する。
	第21回曲水の宴	令和5年 10月15日 (予定)	庭園の遣水に盃を浮かべ、流れにあわせて詩歌を詠む万葉時代に行われた貴族の優雅な歌遊びを再現する。
	雅楽・舞楽の宴	令和5年 11月 (予定)	日本の宮廷音楽である雅楽。オーケストラのような編成で演奏する「管弦」と舞をとまなう「舞楽」を披露する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	カルチャースクール事業	通 年	天平ろまんホールにて、ボタニカルアート・水彩画・パッチワーク・短歌・俳句・ストレッチ・ヨーガ整体などのカルチャースクールを開催する。また、新規事業の企画を随時行っていく。
	ボランティアの受入	通 年	展示解説・案内、庭木剪定、生け花等様々な分野のボランティアを受入れ、市民活動の支援を行う。
	中学生職場体験の受入	令和5年 5月～6月 (予定)	市内中学校2年生の「わくわく体験学習」の生徒を受入れ、体験と通して社会への認識を深める学習を支援する。
	因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会実行委員会事務局事業	通 年	「因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会実行委員会」の事務局として、万葉集に親しみ理解を深める取り組みを行うとともに、万葉のふるさととしての地域づくりを推進していく。
	国府町因幡の傘踊り保存会出演依頼取次窓口事業	通 年	「国府町因幡の傘踊り保存会」への出演依頼を受けて調整をし、伝統芸能の保存・継承を促進するとともに、地域の活性化を図る。
	ボランティアガイド依頼取次窓口事業	通 年	「いなば国府ガイドクラブ」のボランティアガイドの紹介や取次窓口を行い、活動の助力となることで国府町の観光振興を図る。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通 年	万葉集、大伴家持、伊福吉部徳足比売および国府町ゆかりの歴史や人物・民俗、因幡地方の古代・中世史、館蔵資料の調査・研究を継続して行う。
	収集・保存	通 年	各事業の企画・立案や、情報収集に必要な書籍や資料を収集し、整理・保存する。寄託・寄贈資料等の受入を行い、資料の収集・保存を行う。
施設貸与 事業	施設貸与	通 年	天平ろまんホール、伝承館等施設の貸し出しを行う。
	展示室貸与	通 年	民俗展示室、企画展示室を貸し出し、文化活動の展覧会及び発表会に活用する。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	万葉に関する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。来館者の憩いの場として、喫茶業務を行う。

仁風閣・宝扇庵

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき仁風閣・宝扇庵の管理・運営を行う。
	展示物・備品輸送及び清掃事業	令和 6 年 1 月～3 月	仁風閣改修工事に伴い、館内の展示物や備品を移転し、清掃を行う。
展示開 催 事 業	企画展 「映画『るろうに 剣心』パネル展」 (仮称)	令和 5 年 4 月 8 日～ 4 月 23 日 (予定)	12 年前に仁風閣庭園で第 1 作のロケが実施され、令和 3 年度にロケ風景のパネル展を開催したところ若い層を中心としたファンから大変好評を得たため、新たにパネルを追加し紹介する。 協力：ワーナーブラザーズ
	企画展 「水彩画 竹内ロ ウ展～仁風閣・鳥 取城と鳥取の街並 み～」(仮称)	令和 5 年 4 月 29 日～ 5 月 28 日 (予定)	故郷鳥取の懐かしい町並み、仁風閣、鳥取城跡等を水彩画で描き続けている竹内ロウさんの作品を展示し、鳥取の魅力発見に繋げていく。 展示協力：竹 内 ロ ウ 氏
	企画展 「北辰・仁風閣ふ れあいコラボ」 (仮称)	令和 5 年 6 月 3 日～ 6 月 25 日 (予定)	生徒の作品を紹介するとともに、仁風閣裏庭を活用して生徒、教職員によるコンサートを行う。 協力：鳥取市立北中学校
	企画展 「イラストレータ ー伊吹春香展～鳥 取城跡と仁風閣、 鳥取の魅力発見 ～」(仮称)	令和 5 年 7 月 1 日～ 7 月 30 日 (予定)	鳥取県(鳥取の梨、とっておきいちご)、鳥取市(姫鳥線高速バスラッピングバス)、全農(二十世紀梨他)、自動車メーカーフィアット社等多数の実績があり人気急上昇しているイラストレーター伊吹春香さんの展示を行い、幅広い年代の集客に繋げていく。 展示協力：イラストレーター 伊 吹 春 香 氏
	企画展 「鳥取ろう学校 写真作品展」 (仮称)	令和 5 年 8 月 5 日～ 8 月 27 日 (予定)	全国や県内の写真コンクール展で受賞した生徒の作品を中心に紹介し、地域との連携を図っていく。 協力：鳥取県立鳥取聾学校
	巡回展 「第 16 回池田家墓 所写真コンクール 作品展」	令和 5 年 9 月 2 日～ 10 月 1 日 (予定)	「池田家墓所写真コンクール」に応募された作品を展示する。併せて池田家の歴代藩主及び墓所の様子を紹介する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	企画展 「国立米子工業高 等専門学校 仁風 閣調査研究展」 (仮称)	令和 5 年 10 月 7 日～ 10 月 29 日 (予定)	令和 4 年度に米子高専建築コースの生徒が仁風閣の小屋組みを中心に実施した建物の調査・研究についての成果発表の場を設け、地域の教育機関との交流を深めていく。 協力：国立米子工業高等専門学校
	企画展 「鳥取城・仁風閣 ペーパーモデル 展」(仮称)	令和 5 年 秋頃(予定)	鳥取城、仁風閣をテーマとしたペーパーモデルを通して、鳥取城跡周辺を紹介する。鳥取三十二万石お城まつりとも連携を図る。 展示協力：神 谷 佳 友 氏

区分	事業名	期間	事業内容
	共催展 「旧美歎水源地水道施設紹介展」 (仮称)	令和5年 11月3日～ 11月19日 (予定)	仁風閣と同じく国指定重要文化財になっている旧美歎水源地について紹介し、鳥取市の水道の歴史について理解を深める。 共催：美歎水源地保存会
	企画展 「久松小学校卒業作品展」(仮称)	令和5年 11月23日～ 12月17日 (予定)	鳥取市の小学校と連携し、生徒の作品を紹介することにより、新たな賑わいと仁風閣を身近に感じる機会を創出する。 協力：鳥取市立久松小学校
教育普及 啓発事業	講座・講演事業	令和5年度 4月～12月	鳥取城や仁風閣について学習し、理解を深める講座を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「城ブーム！城の魅力について学ぶ講座」(仮称) 講師：鳥取市教育委員会文化財課 細田 隆博 氏 ・「ととりの歴史散策」(仮称) 講師：学芸員 伊藤 康晴 ・「大手門中ノ御門 渡櫓について」(仮称) 講師：鳥取市教育委員会文化財課 岡垣 頼和 氏 ・「池田家墓所について」(仮称) 講師：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会 幹事 ・「都市計画の社会史鳥取城下町の今昔」(仮称) 講師：鳥取市教育委員会文化財課 佐々木孝文 氏 ・「鳥取城跡発掘調査の近況」(仮称) 講師：鳥取市教育委員会文化財課 坂田 邦彦 氏 ・「鳥取近代の歴史について」(仮称) 講師：元鳥取県立公文書館 伊藤 康 氏 ・「鳥取城跡・歴史と樹木考察講座」(仮称) 講師：森林生態学者・農学博士 佐野 淳之 氏 ・「鳥取発の音楽、その歴史と魅力」(仮称) 講師：鳥取大学地域学部教授 鈴木慎一朗 氏 ・「舞踊界からみた体操王国・鳥取の歴史と特長」(仮称) 講師：鳥取大学地域学部准教授 木野 彩子 氏
	北辰・仁風閣ふれあいコラボ～鳥取北中吹奏楽部アンサンブルコンサート～	令和5年度 6月24日 (予定)	地域の宝である仁風閣とのふれあいを通して、生徒が主体的に関わり、地域連携・共生・協働を推進する取り組みのきっかけの場を作っていく。 協力：鳥取市立北中学校
	仁風閣クイズラリー (仮称)	令和5年 7月29日～ 7月30日 (予定)	仁風閣についての認識を深めるため、仁風閣内に問題を設置しクイズラリーを行う。
	夏休み企画 オリジナル風鈴づくり	令和5年 8月5日～ 8月6日 (予定)	因州和紙などを用いてオリジナルの風鈴づくりを行う。 協力：和雑貨のお店和楽 小 塩 浩 美 氏
	日本遺産認定 因幡・但馬地方に 伝わる伝統文化 麒麟獅子舞	令和5年度 年6～7回程度 (予定)	日本遺産に認定された因幡但馬地方に伝わる麒麟獅子舞を、県内外問わず多くの方に紹介するとともにリピーターの確保を行う。 協力：因幡麒麟獅子舞の会 智頭農林高等学校郷土芸能部 久松小学校麒麟獅子舞クラブ

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	4 館合同スタンプラリー	令和5年 7月中旬～ 10月末 (予定)	鳥取市歴史博物館・因幡万葉歴史館・高砂屋・仁風閣の4館でスタンプラリーを実施する。夏から秋の展示やイベントの集客増を目指す。
施設貸与 事業	仁風閣の貸出	通 年	市民団体等による展覧会、イベント、結婚式場、成人式・結婚式等による記念写真撮影などへの貸し出しを行う。
	宝扇庵の貸出	通 年	お茶会、結婚式控え室、記念写真控え室などへの貸し出しを行う。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	国指定重要文化財「仁風閣」に関連する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。

鳥取市あおや郷土館

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや郷土館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	山陰海岸ジオパークの最西端の拠点施設として「ジオパークとは」「青谷町内のジオサイト」等についてパネル・映像等で紹介する。拠点施設として、研修や情報共有会等に参加する。
	企画展 「鳥取市あおや郷土館開館30年記念柴山抱海展」 (仮称)	令和5年 4月22日～ 5月21日 (予定)	平成5年4月1日に開館して30年を迎えるにあたり、柴山抱海氏の書の展覧会を開催する。開館記念に揮毫いただいた作品など収蔵作品や柴山氏所蔵作品などを展示する。
	共催展 「あおや文化まつり2023」	令和5年 6月3日～ 6月25日 (予定)	地域文化活動の拠点としての位置づけから、青谷町文化協議会に所属する団体・個人による作品を展示する。団体によるワークショップも開催する。 主催：青谷町文化協議会
	企画展 「鳥取市あおや郷土館開館30年記念アニマルBone展」 (仮称)	令和5年 7月15日～ 8月20日 (予定)	青谷上寺地遺跡から出土した動物の骨を展示し、弥生時代にどんな生き物がいたのか、個人が所有する数々の現代の動物の骨と比較しながら、弥生人と動物とのかかわりを探る。
	企画展 「鳥取大地震から80年」 (仮称)	令和5年 9月9日～ 10月9日 (予定)	昭和18年9月10日に発生した鳥取大地震から80年を迎えるにあたり、鳥取大震災についての書籍発行を計画・準備を進めている（一財）鳥取市社会教育事業団と連携して、当地震についてその歴史や当時の被害状況等を紹介する。震源近くである鳥取市西地域および被害の大きかった鳥取市中心市街地の様子を写した写真をもとに紹介する。また、鳥取大震災の最新研究成果についても紹介する。 連携協力：一般財団法人鳥取社会教育事業団
	共催展 「あおいちギャラリー」(仮称)	令和5年 10月21日～ 11月5日 (予定)	青谷町内で活躍する作家・グループ及び町内保育園児と小・中学校児童による作品展示や会場内の各種体験教室を行う。青谷地域にぎわい創出事業として7年目の開催で、団体によるワークショップも開催する。 主催：青谷地域にぎわい創出実行委員会
	企画展 「郷土のカメラマンによる写真展2023」	令和5年 11月11日～ 12月3日 (予定)	開館以来継続している、鳥取市気高・青谷・鹿野地域在住の写真愛好家が撮影・制作した写真作品を展示する。毎年テーマを設定し、募集する。出品者の関心も高く、創作活動の励みとなっている。
	共催展 「第15回青谷高等学校授業作品展」 (仮称)	令和5年 12月9日～ 令和6年 1月8日 (予定)	青谷高校と連携し、授業の成果である美術・工芸作品を展示発表することで学校、地域の連携を図るとともに、生徒の今後の学習意欲を高める一助とする。 主催：鳥取県立青谷高等学校

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「第19回鳥取市児童生徒交流絵画展」	令和6年 1月20日～ 2月12日 (予定)	鳥取市気高・鹿野・青谷町の小・中学校児童生徒、及び県立青谷高等学校美術部生徒の制作した絵画作品を広く展示、紹介し市民が地域の子もたちの創作活動の成果に接する機会を設ける。
	企画展 「かちべのあんなとこ・こんなとこ～鳥取市青谷町勝部地区の魅力～」 (仮称)	令和6年 2月23日～ 3月24日 (予定)	前年度に実施した勝部見どころマップ作成事業の成果をもとに、勝部地区の自然・歴史・文化をパネル等で紹介する。
	次年度以降の展示準備	通年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	展覧会関連事業 「柴山抱海展」 (仮称)	令和5年 4月22日	「あおや郷土館看板除幕式」 開館時に掲げられた柴山抱海氏の書による看板を一新し、展覧会開幕日に除幕式を行う。 「開館30年記念缶バッジの限定配布」
	展覧会関連事業 「アニマル Bone 展」(仮称)	令和5年 展覧会開催中	「アニマル Bone コレクション解説」 講師：青谷かみじち史跡公園準備室職員 「鹿の角アクセサリ作り」 鹿の角を加工したアクセサリ作りを行う。
	体験イベント 「ジェルキャンドルで青谷の海を作ろう！」	令和5年 夏休み期間中	山陰海岸の鳴り砂（鳴らなくなった砂）を利用して、貝殻やビー玉などを入れ、ジェルキャンドルで青谷の海を表現する。
	体験イベント 「貝殻でウインドチャイムを作ろう！」	令和5年 夏休み期間中	山陰海岸の貝殻やビーズを使用し、ウインドチャイムを製作する。
	体験イベント 「貝殻でドアプレートを作ろう！」	令和5年 夏休み期間中	山陰海岸の貝殻やビーズ、色砂を使って、オリジナルのドアプレートを製作する。
	体験イベント 「貝殻で動物を作ろう！」	令和5年 夏休み期間中	山陰海岸の貝殻を使って、かわいい動物を製作する。
	夏休み青谷3館連携クイズラリー	令和5年 夏休み期間中	あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工場の青谷3館をめぐる、施設にちなんだクイズに答える。全問正解者に景品を進呈する。
	展覧会関連事業 「鳥取大地震から80年」 (仮称)	令和5年 展覧会開催中	「鳥取大震災80周年『鳥取の震災』出版記念シンポジウム(仮称)」 連携協力：一般財団法人鳥取市社会教育事業団 「講演会」 演題：鳥取大震災から80年(仮称) 講師：鳥取大学名誉教授 西田良平氏 「ギャラリートーク」 「起震車体験イベント」
	体験イベント 「動物ポンポンづくり」	令和6年 1月20日～ 2月12日 (予定)	毛糸を使って動物を作るワークショップ。児童生徒絵画展期間中の5日間実施する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	展覧会関連事業 「かちべ見どころ ウォーク」	令和5年 展覧会開催中	勝部地区魅力展の開催に合わせて、勝部地区の見どころを散策する
	令和版あおや見どころマップづくり	通 年	青谷町各地区に残る文化財、歴史、文化について地域の中から掘り起こす。本年度は、青谷地区の調査を行い見どころマップを制作し、地域の活性化につなげる。
	ジオガイド養成講座	令和5年6月 ～令和6年2月 計3回 (予定)	山陰海岸ジオパークの魅力を伝えるボランティアガイドを養成するため講座を開設する。
	出前講座	通 年	学校・団体等からの講演会・体験学習等の要望に応え、出前講座を実施する。 青谷高校「青谷学」 山陰海岸ジオパーク現地見学 など
	わくわく体験学習受入	令和5年 5月(予定)	青谷中学校2年生生徒を受け入れ、博物館事業の体験を通して、社会への認識を深めてもらう。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通 年	郷土の偉人、郷土資料等の調査を実施し、次年度の展示へつなげる。
	館蔵資料の整理・確認	通 年	収蔵資料の再整理・確認、貸出を行う。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	あおや郷土館に関する図書及び財団刊行物などの関連商品の販売を行う。 以前開催した展示会の作家による作品等を委託販売する。

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の管理・運営を行う。 ※ガイダンス施設完成後は、引き継いだうえで展示館の業務は廃止となる。
展示開催 事業	常設展示	通 年	鳥取県とっとり弥生の王国推進課と連携し、青谷上寺地遺跡の出土遺物を展示する。
	ロビー展示 「ここまでわかった、古代山陰道～青谷町域を中心として～」(仮称)	令和5年 6月下旬～ 8月下旬 (予定)	青谷上寺地遺跡域内でも見つかった古代山陰道。近年の青谷町域で実施された古代山陰道の発掘調査成果を中心に展示紹介する。
	ロビー展示 「関係者に聞く、青谷上寺地遺跡の一押し展」(仮称)	令和5年 9月～11月 (予定)	青谷上寺地遺跡発見以降、遺跡の調査や保存活動、勉強会などいろいろな事に関わりをもった皆さんから、青谷上寺地遺跡に関する遺構・遺物・その他何でも含めて一押しのを伺い、展示紹介する。
	ロビー展示 「青谷上寺地遺跡展示館のあゆみ展」(仮称)	令和5年 11月～12月 (予定)	青谷上寺地遺跡展示館のあゆみを振り返るとともに、上寺地遺跡クラブの皆さんと当展示館の活動の中で制作した体験グッズなども展示し、今後の上寺地遺跡に関する活動を考える一助とする。また開館以来の関係者の中から講師を招聘し、遺跡についてや当館の思い出などを語っていただき、新たな青谷上寺地遺跡の出発への門出とする。
教育普及 啓発事業	体験学習	通 年	「弥生のかご作り」「土器・土笛作り」「麻ひもコースター作り」「鋳造体験」「滑石勾玉づくり」など子どもから大人まで楽しめる体験を行う。
	ゴールデンウィーク・春体験イベント	令和5年 5月2日～ 5月7日 (予定)	「削って染めて☆オリジナル勾玉をつくろう！」 簡単に加工できる滑石の勾玉を削り、染料で染めてオリジナルの勾玉を作る。 「かみじちシルエットクイズ」(仮称) プリントに描かれたシルエットと同じものを展示室の中から探すクイズ。
	夏休み体験イベント	令和5年 夏休み期間中	「鏡の鋳造体験」 鏡の鋳型に低融点合金を流し込み、鋳造を体験する。 「ジェルキャンドルで海をつくろう」 貝がらなどを使ってジェルキャンドルづくりを行う。
	秋・冬季体験イベント	令和5年 9月～11月	「古代の宝石 ガラス玉づくり」 青谷上寺地遺跡出土のガラス玉にちなんで、マール玉と泡玉を作成する。 「古代の宝石 琥珀勾玉づくり」 古代から宝石として装飾品等に使われていた琥珀を使って勾玉を作成する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	閉館イベント	令和5年 11月(予定)	展示ガイダンス施設のオープンに伴い、青谷上寺地遺跡展示館が閉館することから、開館以来の関係者の中から講師を依頼し、遺跡についてや当館の思い出などを語っていただき、新たな上寺地遺跡への出発の門出となるイベントを行う。
	むきばんだ史跡公園交流事業	令和5年 9月頃	むきばんだ秋麗祭に参加し、出張パネル展、体験コーナーを設け青谷上寺地遺跡を情報発信する。
	夏休み青谷3館連携クイズラリー	令和5年 夏休み期間中	あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房の青谷3館をめぐって、施設にちなんだクイズに答える。全問正解者に景品を進呈する。
	来館者サービス事業	通 年	来館者に、遺跡の出土品のデザインをスタンプしたオリジナルの和紙メモ帳を進呈する。トリパス等入館チケットを提示された方に記念品を進呈する。
	青谷上寺地遺跡クラブ支援事業	通 年	青谷上寺地遺跡クラブの活動を支援する。
調査・研究 収集・保存 事業	資料収集	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び調査成果を使用して製作された図書、論文、考古学の基本図書などの収集。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び関連商品の販売を行う。

鳥取市あおや和紙工房

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや和紙工房の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	古来の和紙の製法、道具、和紙の現在・未来などの展示を行う。また、体験工房において、流し漉きなど和紙の伝統技術の実演を随時行う。
	企画展 「遊空和紙民族展」(仮称)	令和5年 4月22日～ 5月28日 (予定)	岩美町在住の造形作家である岡野元房氏による、近未来の日本を因州和紙で表現する作品を紹介する。 協力：岡 野 元 房 氏
	企画展 「因州和紙写真展～とっとりの日本遺産～」(仮称)	令和5年 6月24日～ 8月27日 (予定)	鳥取県の日本遺産である「麒麟獅子」、「北前船」等の写真を因州和紙にプリントして展示する。
	企画展 「木霊展Ⅲ」(仮称)	令和5年 9月16日～ 11月19日 (予定)	平成29年度、令和2年度に開催した「木霊展」の第3弾として、鳥取県大山町在住の木工・灯り作家 山ノ内芳彦氏の作品を紹介する。 協力：山ノ内 芳 彦 氏
	企画展 「第19回鳥取書道女流選抜展 青谷展」	令和5年 12月2日～ 12月17日 (予定)	各社中から選抜された鳥取県東部を中心に活躍する女性書道家たちによる書の作品を展示する。
	企画展 「第20回因州和紙あかり展」	令和6年 1月20日～ 3月24日 (予定)	和紙あかり作品の全国公募展。鳥取県特産の因州和紙など使用したあかり作品、オブジェなどの照明作品を展示する。
	ロビー展示	通 年	鳥取県指定無形文化財「因州青谷こうぞ紙」に関する資料や因州和紙に関連した創作活動などの発表の場として、エントランスホールにおいて随時展示を行う。
	次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	「紙すき体験」	通 年	紙すき体験、紙すき体験で作った和紙を使ったランプシェード作り、卒業証書作りなどをはじめ、いろいろな和紙(加工)体験メニューを提供する。
	体験イベント 「鯉のぼりガーランドづくり」(仮称)	令和5年 4月～5月 (予定)	因州和紙を使用してガーランドの鯉のぼりを作成する。
	展覧会関連事業 「光る和紙オブジェをつくろう」(仮称)	令和5年 5月(予定)	遊空和紙民族展の関連事業として、学芸員による講義内容をもとに、因州和紙を使って光る和紙オブジェづくりを行う。 講師：鳥取県立博物館学芸員

区分	事業名	期間	事業内容
	体験イベント 「和紙で風鈴づくり」(仮称)	令和5年 6月(予定)	因州和紙を使った風鈴を作成する。
	展覧会関連事業 「出張ワークショップ」(仮称)	令和5年 6月～10月 (予定)	因州和紙あかり展一般部門、ジュニア部門への出品に向けて、学校、地区公民館等に出向きランプシェードづくりの制作指導を行う。
	展覧会関連事業 「マリオネット麒麟獅子舞」(仮称)	令和5年 7月(予定)	因州和紙写真展の関連事業として、麒麟獅子舞のマリオネット劇鑑賞を行う。 協力：石田一高 氏、福本弘文 氏
	展覧会関連事業 「折り紙体験」 (仮称)	令和5年 7月(予定)	講師の指導により、因州和紙を使った折り紙体験を行う。 講師：いなば和紙折り紙教室
	わくわく夏休み体験 「折り染め和紙でオリジナルうちわづくり」	令和5年 7月～8月 (予定)	流し漉きで漉いた和紙を折り染めにし、うちわ作りを体験する。
	体験イベント 「万華鏡づくり」 (仮称)	令和5年 7月(予定)	因州和紙を使って万華鏡を作成する。
	展覧会関連事業 「木工・和紙のランプシェードづくり」(仮称)	令和5年 10月(予定)	木霊展の関連事業として、講師の指導により、木工・和紙のランプシェードづくりを行う。 講師：山ノ内芳彦 氏
	体験イベント 「和紙のおきあがりこぼしづくり」 (仮称)	令和5年 10月(予定)	因州和紙を使っておきあがりこぼしを作成する。
	体験イベント 「干支の貼り絵づくり」(仮称)	令和5年 11月(予定)	因州和紙を使って辰の貼り絵を作成する。
	体験イベント 「草木染めオリジナル年賀状づくり」(仮称)	令和5年 12月(予定)	手漉き和紙を草木染めし、オリジナルの年賀状を作成する。
	体験イベント 「オリジナル手漉きコースターづくり」(仮称)	令和6年 1月(予定)	丸型の和紙を漉いたあと、染め和紙で飾りを施してオリジナルのコースターを作成する。
	展覧会関連事業 「ランプシェードづくり①」(仮称)	令和6年 1月～2月 (予定)	因州和紙あかり展の関連事業として、灯り作家の指導のもと、木と和紙を使ってランプシェードを作成する。 講師：山ノ内芳彦 氏
	展覧会関連事業 「ランプシェードづくり②」(仮称)	令和6年 1月～2月 (予定)	因州和紙あかり展の関連事業として、因州和紙を使用して季節をあしらったランプシェードを作成する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	展覧会関連事業 「ランプシェード づくり③」(仮称)	令和6年 1月～2月 (予定)	因州和紙あかり展の関連事業として、因州和紙を使用してドーム型のランプを作成する。
	「わくわく体験学 習受入れ」	令和5年 5月(予定)	青谷中学校2年生の「わくわく体験学習」を受け入れ、体験を通して社会への認識を深める学習を支援する。
	夏休み青谷3館連 携クイズラリー	令和5年 夏休み期間中	あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工場の青谷3館をめぐって、施設にちなんだクイズに答える。全問正解者に景品を進呈する。
	「因州青谷こうぞ 紙手すき和紙保存 会活動支援・共同 事業」	通 年	ユネスコ無形文化遺産登録を目指す因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会との協力・共同の活動を通じて、登録へ向けた活動を支援する。
調査・研究 収集・保存 事 業	いなば倭紙(わが み)及び草木染め 研究開発プロジェ クト	通 年	因州和紙の新たな可能性を探り、人材育成及び地域産業との協調協働を目指し、古代紙製法の研究調査と現代の環境への適合を開発する事を目的とする。 地元産の原料(草木他)を使用し、建築資材・工芸アート作品をはじめ、その用途の可能性を探りつつ将来的に地元業者(因州和紙協同組合など)と連携して商品化・量産化の方向性を見出す業務として位置付ける。
施 設 貸 与 事 業	研修室等貸出	通 年	会議・研修等のために研修室等の利用を希望する団体等に対し、研修室・多目的ホールの貸出を行う。
	施設備品の貸出	通 年	和紙業者・和紙組合等へ体験工房設置機材(断裁機・ビーター、ホーレンビーター・スクリーン・カレンダー・打解機等)の貸出を行う。
関連物品 販売事業	ミュージアムショ ップの運営	通 年	地元の因州和紙や和紙加工商品の販売、あおや和紙工房オリジナル商品の制作及び販売を行う。また、透かし漉きの技術を活かした企業ロゴ、商品名等を入れた和紙を、出版印刷業者とのタイアップにて販売・利用促進を目指す。ホームページによる製品紹介等により、因州和紙の魅力を広く広める。

城下町とっとり交流館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき城下町とっとり交流館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	企画展 鳥取県若手陶芸家 作陶展	令和5年 4月～6月 (予定)	若手陶芸家の作品を展示販売する。来館者に PR し情報発信していく。 協力：「鳥取因幡焼」 三木 健太郎 氏 「法勝寺焼松花窯」 安藤 諭里 氏 「三々窯」 廣瀬 泰樹 氏 小淵 祥子 氏
	企画展 鳥取県指定伝統工 芸士展 「大山焼久古窯 鈴木治道作陶展」 (仮称)	令和5年 7月1日～ 7月30日 (予定)	鳥取県伝統工芸士である「大山焼久古窯」伝統工 芸士 鈴木治道氏の作品を展示し、販売する。 協力：大山焼久古窯
	企画展 「ゆらりん和紙あ かり展」(仮称)	令和5年 8月5日～ 9月3日 (予定)	因州和紙とあかりを融合させた遊楽隣工房の作品 を展示・販売する。 関連体験イベント「和紙あかりづくり体験」を夏 休みに開催する。 協力：遊楽隣工房
	企画展 「尾崎放哉パネル 展」(仮称)	令和5年 11月2日～ 11月26日 (予定)	尾崎放哉に関する生涯の年表と写真を展示する。
	企画展 「日本遺産麒麟獅 子舞展」(仮称)	令和5年 12月2日～ 令和6年 1月8日 (予定)	日本遺産麒麟獅子舞に関連したパネルを展示し、 麒麟獅子舞のまちを PR する。
	企画展 「懐かしい風景 「昭和の鳥取」写 真パネル展」 (仮称)	令和6年 1月13日～ 2月29日 (予定)	昭和30年～40年代の鳥取の懐かしい風景写真を パネルで紹介する。
	企画展 「城下町とっとり 大工町の歴史」 (仮称)	令和6年 3月2日～ 3月31日 (予定)	大工町の歴史と商店を紹介し、元大工町周辺の地 図や人口の推移などパネルで展示する。江戸時代 の鳥取城下を記した因幡国鳥取城廻絵図と元大工 町の古絵図を展示する。
	東蔵 放哉蔵	通 年	尾崎放哉の句を鳥取市内の書家が書いたものを展 示する。県内外の書家が揮毫した尾崎放哉の句碑 を軸装した原書と句碑の模型を展示する。
	巡回展	通 年	財団所管施設で開催する展覧会を巡回展示する。

区分	事業名	期間	事業内容
教育普及 啓発事業	歳時 「端午の節句」	令和5年 4月22日～ 5月7日 (予定)	高砂屋に借用寄贈していただいた五月人形・鯉のぼり・鎧飾り・兜を2階全室に展示する。 関連イベントとして、お楽しみ会(白うさぎ一座)を開催する。
	歳時 「七夕」	令和5年 7月1日～ 7月7日 (予定)	入館者等に短冊に願い事を書いていただき、竹笹に吊るして玄関先に飾る。
	歳時 「月見」	令和5年 9月29日 (予定)	すすきと団子を飾り、抹茶を販売する。
	歳時 「冬至」	令和5年 12月22日 (予定)	冬至が近い日の休日にヨガ教室を開催する。 併せて参加者にハーブティーを提供する。
	歳時 「正月」	令和6年 1月下旬 (予定)	お正月にちなんだ詩吟を披露し、昔の正月遊び(福笑い・かるた・百人一首・こま回し等)を開催する。 協力：吟道翔風流日本吟翔会
	歳時 「節分」	令和6年 2月3日 (予定)	柊の枝・いわしの頭を串に刺したものを玄関先2ヵ所に設置し、先着50名に福豆を提供する。 併せて、喫茶室利用者にハーブティーをサービスする。
	歳時 「ひなまつり」	令和6年 2月17日～ 3月3日 (予定)	高砂屋近隣の方々から借用・寄贈されたひな人形を2階に飾りつけをする。 関連イベントとして、おはなし会(昔話)を開催する。開催期間中に喫茶室利用者においりをプレゼントする。
	展覧会関連事業 「地域交流会」 (仮称)	令和6年 展覧会開催中	懐かしい風景「昭和の鳥取」写真パネル展の関連事業として、懐かしい写真を通して地域住民と交流を図る。
	4館合同スタンプ ラリー	令和5年 7月中旬～ 10月末 (予定)	鳥取市歴史博物館・因幡万葉歴史館・高砂屋・仁風閣の4館でスタンプラリーを実施する。夏から秋の展示やイベントの集客増を目指す。
	季節の植物	通年	玄関先、中庭の整備を行い、季節の植物を配置する。
施設貸与 事業	貸室	通年	多目的交流室(和室、板の間大・小、茶室、納戸)の施設貸出を行う。
	家財蔵	通年	文化芸術の向上に資することを目的に、創作活動を行っている初心者に、作品の展示場として貸し出す。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通年	鳥取県伝統工芸士の作品を中心に、鳥取の民・工芸品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 市民の憩いの場として、軽食・喫茶の販売を行うとともに、鳥取カレーの情報発信及び販売を行う。

財団広報事業

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
全 施 設 共 通 事 業	広報営業活動	通 年	鳥取市内・郡部の小・中・高校や、福祉施設及び公民館を訪問し、チラシ配布や営業活動を行う。
	ホームページ・SNS保守・管理	通 年	財団ホームページ及び Facebook の保守・管理を行う。
	各種広告	通 年	日本海新聞、高速道路サービスエリア・道の駅、鳥取駅前地下道など各広報媒体を活用して施設のPR活動を行う。
	各種協賛	通 年	しゃんしゃん祭りや池田家墓所写真コンクールなどの展覧会、イベントへの協賛を行う。

博物館等活用教育プログラム策定事業

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
全 施 設 共 通 事 業	博物館等活用事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校に学習指導要領に基づいたプログラムを提供することで鳥取市文化財団の博物館等施設の利活用を行う。
	博学連携だよりの発行	年 2 回	財団各施設の展覧会やイベントを PR するとともに、博物館資料や郷土の歴史、博物館等の活用方法などを紹介する。
	はくがくニュースの発行	年 4 回	「博学連携だよりの」を補完し、より細かく迅速に財団各施設のニュースを届けることを目的に制作・発刊する。

【公益目的事業 2】

鳥取市埋蔵文化財センター

(1) 埋蔵文化財発掘調査の受託

事業名	原因者	調査内容	契約額(千円)	備考
鳥取市内遺跡発掘調査事業	鳥取市	試掘調査事業 調査面積 600 m ² 整理・報告書作成	8,641	試掘調査
発掘調査資料整理事業	鳥取市	資料整理事業 市内既発掘調査諸記録の整理	6,897	継続事業
早牛矢島城跡発掘調査事業	中国電力	鉄塔建替え事業 調査面積 300 m ² 整理・報告書作成	6,692	新規事業
鳥取城下町遺跡(乾家屋敷跡)発掘調査事業	最高裁判所 事務総局 経理局営繕課	鳥取地方裁判所庁舎建替事業 調査面積 1,027 m ²	38,455	新規事業
合計	—	調査面積 1,927 m ² 報告書作成 1 遺跡分	60,685	

(2) 鳥取市埋蔵文化財センター管理運営補助事業

事業名	受託者	事業内容	交付額(千円)	備考
埋蔵文化財発掘調査管理運営補助	鳥取市	・埋蔵文化財に関わる発掘調査事業の立案、管理 ・埋蔵文化財に関わる資料の保存・整理 ・埋蔵文化財の公開、活用、教育普及活動	2,493	

(3) その他事業

- ①わくわく体験学習の受け入れ
- ②資料調査等への対応
- ③資料貸出等への対応